

お
か
げ
さ
ま
で
70
周
年

山本清掃は
おかげさまで70周年

Thank you😊



株
式
会
社
ヤ
マ
モ
ト
ホ
ー
ル
デ
ィ
ン
グ
ス

○ **YAMAMOTO Holdings**
ヤマモトホールディングス

VAMAMOTO
株式会社 山本 清 掃

M.R.C
株式会社 エム・アール・シー

Linkinc
株式会社 アイリンク

KYOTATE
京都建物総合管理株式会社

吉
株式会社 下屋敷商店

タ
高野清掃株式会社

CONTENTS	2
はじめに	4
YHD CEO あいさつ	5
VISION	6
YHD COO ～70周年を迎えるにあたり～ YHD CHO ～新たな成長ステージへ～	7

1 BEGINS

想いの歴史 ～玉井の親方～	8
創業の精神 ～故・山本武雄～	9

2 HISTORY

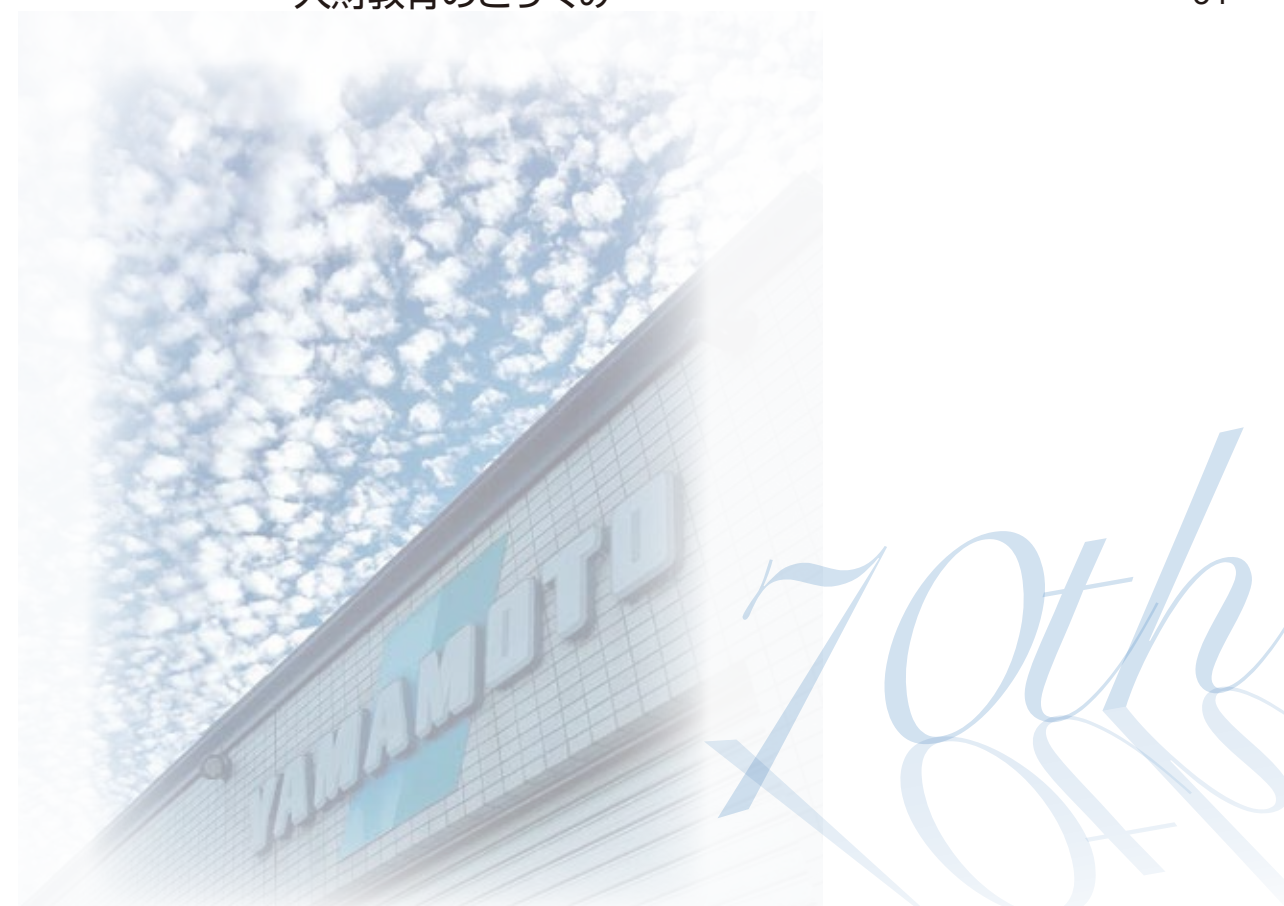
企業年表・事業紹介	11
CSR 活動	16
組織図	18
受賞歴	19

3 CURRENT

70年の歩み	20
社内の風景	22
Activity	24
Family	26
きれい創造新聞-バックナンバー-	28

4 FUTURE

労働安全宣言	32
労働安全衛生のとりくみ	33
人財教育のとりくみ	34



古都 京都で

迎えることができました創業七十周年

これからも、皆様にお応えできる企業であるために…

ヤマモトホールディングス 中核企業である山本清掃はこの度 70 周年を迎えることができました。またホールディングス制以降、京都でも古い歴史を持つ、下屋敷商店様、高野清掃様にも私どもの企業文化、理念、信念、行動規範に理解を頂きホールディングス グループ企業に参加頂きました。70 年前 家内業として始まったこの仕事も、現在 150 名を超える従業員が在籍する企業となりました。

また業務提携を行う企業様も増え、これまで以上にお客様へどのようにすれば要望にお応えできるのか、喜んで頂けるのかをしっかりと考え行動できる企業体であるよう、これからも皆様と共に成長する京都の企業として努めて参ります。



株式会社 ヤマモトホールディングス
CEO

山本 敏裕
TOSHIHIRO YAMAMOTO

すべては、京都の皆様の
「ありがとう」の言葉から始まった…

皆様のおかげをもちまして、今期ヤマモトホールディングスグループは創業70周年の節目を迎える事ができました。お客様、地域の皆様方に従業員 経営陣一同を代表し感謝を申し述べたいと思います。本当にありがとうございます。
私どもは、この「ありがとう」の言葉を大切に考える企業文化があります。ヤマモトホールディングスグループの中核企業である株式会社山本清掃は、創業者山本武雄が創業した当初、リヤカーを引っぱり、人力のみで業務をしており大変な思いで業務にあたっていると聞いております。その大変さから何度も「やめよう」と考えたようです。でも、お客様から頂く「ありがとう」に勇気づけられ、励まされてお客様に必要とされている誇りを胸に頑張ってきた。これこそが私たち山本清掃の原点です。

埃かぶって誇りもて… 創業者の想い

決して楽ではない、額に汗して京都中の廃棄物回収を行うことは大変な作業。このような過酷な仕事の最中、疲れ切った腕では持ち上がらないごみを頭からかぶってしまうことが一度や二度ではなかったと、創業者である父から聞かされておりました。ただ私どもが来ることを待つお客様の為に懸命に働いた創業者が「塵芥をかぶってでもお客様の待つところへ向かう」の想いが、やがて「埃かぶって誇りもて」の言葉へと変わってきたものだと思います。
時代は高度経済成長期を迎え、収集専用車両を使用するのが当たり前になった頃、日本における過去最高の好景氣を迎えます。そして昭和60年に創業者である父 山本武雄から、私は社長職を引継ぎました。

京都で、一番の会社になるために…

私は京都で、一番の会社になる目標を持っております。
第二創業の思いの中、「強小は弱大に勝る。」私はこれまでそう思って仕事をしてきました。しかしながら、ただ一番とは、単純に売上が一番であるとか取扱数量が一番であることではなく、お客様に「まじめ」「誠実」に向き合い、京都で一番お客様に満足して頂ける会社、一番愛され必要とされることを、京都で一番の企業として目指して邁進して参る所存です。
そのためには、現在ヤマモトホールディングスで掲げる理念「日本のきれいを創る」を実践することと考えております。
私の考える「きれい」とは周囲環境がきれいは基より、語りかける言葉がきれい、立ち振る舞いや行動がきれい、空気や水がきれい等と考えています。創業者はよく「すべてのものには神が宿る」と申しておりました。心がきれいであるならば、八百万の神は必ずや私どもの行動の後ろ盾となってくれるものと思います。
お客様に愛されること、必要とされること。この一番を目指してこれからも精進して参ります。
もう 70 年ではありません。まだ 70 年、まずは次の節目である 100 年企業を目指し実現する企業として今後とも皆様のご指導とご鞭撻、そしてご愛顧を賜ります様、お願い申し上げます。

平成三十年十一月三日



－日本のきれいを創る－

私たちに課せられた使命と掲げる理念「日本のきれいを創る」ため、周辺環境に負けない強い企業体質を作っていかなければなりません。

この一年間は、労働安全衛生委員会の皆さん・社会保険労務士先生・江蔵顧問のお蔭を持ちまして、大きな労働災害を発生させることはありませんでした。感謝申し上げます。私たちが標榜している「安全とコンプライアンス」。この遵守は、私たちにとって仕事の根幹をなすものです。事故が起きたりけが人を出すことがあれば、お客様からの信用・信頼は得られません。またともに働く従業員ご本人はもちろん、ご家族の皆さんにも事故がない職場作りに努力する姿を見て頂かなければなりません。

－働き方改革－

政府が提唱する「働き方改革」。これを当社でもこれから取り組んで参ります。従業員の皆さん、各個人の充実した生活や人生のため、長時間労働に拘束されるのではなく仕事の効率を図り、残業時間の短縮や休暇の取得を促してまいりたいと思います。ただこれにも、現在行っている仕事をお客様の為に確実に行うことが前提となります。今まで以上に質が高く、時間効率も高めた業務の遂行が行われることでこの働き方改革の基盤を作っていきたいと思います。

－昨年度の実績－

昨年度の経営状況は、京都ではホテルの建設ラッシュを中心に堅調に推移する状況でした。しかし、中国の廃プラ、雑紙、雑品の受入れ輸入停止問題で、有価物の取引価格は暴落し、今後も予断を許さない状況です。また、深刻な人手不足も大きな社会問題となっております。私共グループ全体としての荷物の取扱量及び業務量はお陰さまで増加傾向にあり、昨年度は働き方改革による仕事の効率化と M&A により、グループ全体として、約 2,000 百万円の売上を計上致しました。

－今年度の目標－

今年度は昨年度より業務体制強化の為に組織の再編成に着手し、センターオフィス構想で各グループ会社の業務効率を強化し安全・安心に働ける環境創りと、ドライバー教育など人材教育に力を入れ、業務品質の向上を目指して参ります。また、我々の理念に共感して頂けるビジネスパートナーを増やして行きたいと考えております。

グループ全体の売上高は、2,200 百万円を目標とし、より収益性の高い企業体を実現します。景気は五輪特需の東京を中心とした期待感が強い状況ですが、我々は地域に密着し、京都で一番人間力の高い会社を目指します。「ヤマモトホールディングスの各グループ会社に頼んで良かった」「京都で一番親切、丁寧だ」と、数字だけではなく人間力でお客様に必要とされる企業体になる事を目標と致します。



株式会社 ヤマモトホールディングス COO
株式会社 エム・アール・シー 代表取締役

山本 真也
MASAYA YAMAMOTO

70 周年を迎えるにあたって

此度、皆様のおかげで弊社は創業から 70 周年を迎えることが出来ました。祖父、山本武雄が戦後から始めた事業が、70 年の時を過ぎてもなお、京都でお客様から必要として頂けていることに感謝の気持ちでいっぱいです。創業時は、リヤカー一つで事業を開始したと聞いております。現在当たり前に使っているパッカー車や、重機などはもちろんない時代。車や携帯電話、インターネット等、現在の私たちが必要としているモノが一切なかったことを考えると、70 年という月日が今の我々の生活をどれだけ豊かなものに変えてきたのかがよく分かります。創業者である祖父は、軍人だったこともあり、国の為に尽くすという気持ちが強い方でした。弊社の理念でもある「日本のきれいを創る」には創業者の強い想いが込められています。今でこそ平和になった日本で、豊かになった日本で祖父から残されたこの事業を通して私たちも国の為、お客様の為、従業員さんの為に何が出来るのかを常に自問自答していきます。戦後の日本の復興を支えて下さった方々から受け取ったバトンを次の世代へと引継ぎ、世の中で必要とされる企業として永続していけるよう精進して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願いいたします。

株式会社 ヤマモトホールディングス CHO
高野清掃 株式会社 代表取締役

山本 智也
TOMOYA YAMAMOTO

新たな成長ステージへ

我々のビジネスは目には見えない価値を提供しています。例えばメーカーや小売りという仕事ではお客様がお金を払い、対価を得ている。私どもの仕事はお客様がお金を払い、モノがなくなる。これは人間の心理的にお金をかけたくないという気持ちが働きます。しかしそこで考えて欲しいのが、世の中がこれだけ豊かになって人間が存在するだけで環境破壊をしているといっても過言ではない現状があります。また不法投棄や海のプラスチックごみも後を絶ちません。そんな現状を少しでも変えていきたいというのが私たちの使命でもあり創業の精神でもあります。我々の経営理念に「きれい」という言葉が使われていますが、廃棄物を適正処理、再資源化することは勿論のこと、関わる全ての人の心まできれいにし物心の両面できれいを提供していきたいと考えております。戦後という何もないところから先代の方々が創り上げてきたこの日本の発展、文化を支え「きれい」を次の世代に繋げたい。ゴミをひとつ拾えば、ひとつきれいになるように、環境について少しでも考えてもらう。そのことが「きれい」の第一歩だと考えます。ヤマモトホールディングスはこの想いを絶やすことなく、これからも皆様のパートナーとして成長していくことをここにお願い申し上げます。



山本清掃の原点

山本清掃は、江戸末期から塵芥処理業を生業とする、名門、玉井家の流れを受け継いでいます。

一、玉井の親方

昭和24年 先代である創業者がこの仕事を始めるにあたり、当時 祇園地区（一力、南座、永楽屋、祇園甲部）の塵芥処理を受け持つ「玉井」の親方にお世話になりました。

玉井家は、江戸の末期、皇居がまだ京都にあった頃から、塵芥処理業を生業とする名門で、当時は三代目の彦左衛門（明治10年生 1961没）がその当主を務められていました。

京都の街に疎い先代は、懸命さだけが取り柄で、狭いとは言われる京都の街...しかしながら当時 片曳き車を人力で引っ張りながら塵芥を集めるには、とてつもなく広く感じられたようです。体力を酷使する仕事に、何度も音を上げそうになったのを支えてくれたのが、お客様からの「ありがとう」の言葉であったと聞きます。その言葉に支えられ、頑張る仕事ぶりを見て、玉井の親方が仕事の権利を与えてくれたそうです。



二、大幸の親方

新京極を中心塵芥処理を受け持つ「大幸（おおさち）」の親方は戦後、進駐軍を相手に裏寺町でダンスホールも経営する、「やり手」でした。この地でも、先代の仕事ぶりが「大幸」の親方から認められ 京極、新京極、寺町、六角、河原町といった、京都中心部の仕事の権利を譲り受けることになりました。

創業以来、当社を支えてくださっているお客様も、この京都で何十年、中には100年以上にわたり、様々な時代のうねりを乗り越えながら、商いを続けていらっしゃいます。私たち山本清掃は、そんな京都の人々の営みを支え、支えられながら今、ここに存在しています。

三、塵芥収集の仕事を引き継いだ 創業者会長 故 山本 武雄



創業の精神

— ヤマモトイズムの継承 —



経営理念

日本のきれいを創る。

私たちはきれい創造企業として、産業・文化の発展を支え、日本の環境を守ります。

世の中で不要とされるものに光をあて、新たな価値「きれい」を創ることを通じて、社会に貢献します。

私たちが掲げる「きれい」とは

- 環境がきれい
- 話す言葉、行いがきれい
- 心、気持ち、想いがきれい

私たちは物心の両面での「日本のきれいを創る」ことを経営理念とします。



社是（基本方針）

• お客様第一主義。

• 「もったいない」の、一歩先へ。

私たちは、従来の常識の枠を越えた発想で今までにはない、新しい価値の発見と仕組みを創り出し、安全で安心な心地よい社会の実現を目指します。時代が求める企業像へ一歩、一歩着実に。

• 世のため、人のためにつくす。

企業は社会の役に立つことで存在価値があり、利潤を上げることができ、存続していくことができる。創業者 山本武雄が伝えた信念です。私たちはこれからも、世のため、人のためにあらゆる努力を尽くします。

私たちが目指すもの

百年企業を実現します。

ヤマモトホールディングスグループが理想とする未来を実現するためには、きれい創造企業としてその活動を永く継続しなければなりません。また、社会や従業員に対する責任においても同様です。そのために私たちは創業70年を越えた今、創業100年そして、その後を見据えた新たな企業構想を進めて参ります。



誠実に、初心を忘れず、精進を続けて100年企業へ！

世の中

のこころ

環境施策

京都府の

ヤマモトホールディングスの歩み

株式会社山本清掃

株式会社エム・アール・シー

株式会社アイリンク

京都建物総合管理

株式会社下屋敷商店

高野清掃株式会社

き

世

中

の

こ

ろ

環

境

施

策

京

都

府

の

ヤ

マ

モ

ト

ホ

ー

ル

ド

ィ

ン

グ

ス

の

歩

み

株

式

有

限

公

司

山

本

清

掃

株

式

有

限

公

司

エ

ム

・

ア

ール

・

シー

株

式

有

限

公

司

アイ

リ

ン

ク

京

都

建

物

総

合

管

理

株

式

有

限

公

司

下

屋

敷

商

店

高

野

清

掃

株

式

有

限

公

司

1945年(昭和20年)8月
■太平洋戦争終結
1945年(昭和24年)11月
■皇国学院賞受賞
■山川秀雄、ノーベル物理学賞受賞
1954年(昭和29年)12月
■日本の高度経済成長始まる(～1973年)

1964年(昭和39年)10月■東京オリンピック開催
1970年(昭和45年)3月■大阪(日本万国博覧会)開催
1971年(昭和46年)1月■環境法が成立
1973年(昭和48年)10月■前田組や実業家が世界にこれによりイシノガタを築く
1984年(昭和59年)5月■クロコ、森永事件発生
1988年(昭和63年)6月■リクルート事件発覚

1954年(昭和29年)
■清掃法制定
それ以後は明和33年に制定された汚物排除法が適用されていた。

1967年(昭和42年) ■公害対策基本法制定
1970年(昭和45年) ■産業廃棄物処理法制定
1971年(昭和46年) ■汚濁防止法制定
1981年(昭和56年) ■京都府「自然環境の保全に関する条例制定」
1988年(昭和63年) ■オゾン層保護法制定

1993年(平成5年)
■環境基本法制定
1995年(平成7年) ■環境省が発足
■容積率・建築リサイクル法制定
1997年(平成9年) ■京都府「ごみ処理広域化計画、京と地球の共生計画(地球温暖化対策推進版)」制定
■ダイオキシン類対策特別措置法制定

1998年(平成10年)2月
■長野冬季オリンピック開催

2001年(平成13年)9月
■米国内同時多発テロ事件発生
2002年(平成14年)5月
■サッカーワールドカップ、日韓共同開催

2000年(平成12年) ■循環型社会形成推進基本法、建築リサイクル法、食品リサイクル法、アパレル購入法制定、産業廃棄物処理法改正
2001年(平成13年) ■ポリ塩化ビフェニル産業物の適正な処理の推進に関する特別措置法(PCB特別措置法)制定
2002年(平成14年) ■京都府「京都府産業廃棄物の不適正な処理を防止する条例制定」「自動車リサイクル法制定」
2003年(平成15年) ■産業廃棄物処理法改正
■日本環境安全事業株式会社設立、公布、施行
■産業廃棄物処理法改正(不法投棄の未然防止、リサイクルの推進)

2004年(平成16年)
■大気汚染防止法改正
2006年(平成18年)
■産業廃棄物処理法改正

2009年(平成21年)
■環境フォーラム京都2009出展

2011年(平成23年)3月
■東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)が発生
2013年(平成26年)9月
■2020年夏季東京オリンピックの開催都市が東京に決定
12月
■和食がユネスコ無形文化遺産に

2016年(平成28年)4月
■熊本地震が発生
5月
■先進国首脳会議(G7サミット)が、三重県伊勢志摩で開催(伊勢志摩サミット)

1940's~1950's

創業期

1949年(昭和24年)
4月
・京都市中京区寺町二条にて、京都市公設山本衛生開設

・京都清掃組合(土地組合)に加盟


創業当時の山本衛生を以てこの回収を行ってました。

1958年(昭和33年)
4月
・京都清掃業協同組合認可
・京都市一般廃棄物処理業許可第5号取得


高野清掃の車庫となりオート三輪車を回収するよに。

1960's~1980's

成長期

1968年(昭和43年)
4月
・山本清掃に名称変更

1984年(昭和59年)
4月
・山本敬恒入社

バックカー

1987年(昭和62年)
5月
・京都市入札権取得
1988年(昭和63年)
4月
・正社員採用に着手

1989年(平成元年)
1月
・山本清掃サービスに名称変更


山本清掃サービスのバンカー車

1990's

発展期

1992年(平成4年)
2月
・株式会社山本清掃を設立(資本金1000万円)

1994年(平成6年)
12月
・「建物1200年祭」イベント後の清掃を請け負う

1995年(平成7年)
7月
・「依園苑」のごみ回収を開始

26年間続けています

1996(平成8年)
12月
・「ナカバヤシ(株)」環境関連機器販売京都地区(代理店)に加盟
・京都市産業廃棄物処分業許可(粉砕)取得

1997(平成9年)
3月
・社団法人京都府産業廃棄物協会に加盟
・アルミ缶のリサイクル協会の加盟

4月
・MRC開設(空缶、空瓶、ペットボトルのリサイクル工場)

8月
・大谷祖胤清掃業務を開始

12月
・「地球温暖化防止京都会議」、業界初自主ブース出展

1998年(平成10年)
2月
・貨物軽自動車運送事業開設
4月
・50周年記念事業 機転文書出版新事業 エコポリスパン導入

6月
・京都府産業廃棄物再生事業者登録
エコポリスパン

11月
・大規模事業向け 商業部管理事業開始

1999年(平成11年)
6月
・社団法人京都府トラック協会に加盟
・一般貨物自動車運送事業 近運貨振取得

10月
・京都府計量証明事業登録、京都府計量証明事業協会加盟

12月
・京都府公路40トントラック スケール計量事業所開業

京都府公道 自社ブース

2000's

第二次成長期

2000年(平成12年)
2月
・貨物軽自動車運送事業開設

2001年(平成13年)
3月
・エコシステム協議会に加盟

7月
・山本敬恒が代表取締役社長に 山本武雄が取締役会長に就任

2002年(平成14年)
1月
・大型車両(10t車)を2台導入
3月
・「ISO14001」の認証を取得
9月
・パピルスネットワーク全国会議と同時に加盟

10月
・株式会社山本清掃、資本金を2000万円に増資

2003年(平成15年)
2月
・株式会社山本清掃、資本金4000万円を増資
3月
・株式会社山本清掃、資本金5000万円に増資

4月
・大型トッカーを導入
・55周年記念事業 エコポリスパン2号機導入
5月
・内閣府認定 特定非営利活動法人 日本産業物再利用研究機構設立発起人となる
10月
・京都クリアセンター(KCC)の新設工事竣工

2004年(平成16年)
8月
・京都クリアセンター(KCC)開設
・本社所在地を現住所に移転

2006年(平成18年)
3月
・混合産業物別種新規中間処理業許可(選別)取得
4月
・新卒者採用開始

2007年(平成19年)
4月
・障がい者雇用開始
7月
・京都府清掃事業連合会発起 全国清掃事業連合会加盟 パソコンOA機器買取、密着拭消事業開始

2008年(平成20年)
2月
・女子サッカーでとしてリーグ「リニース表紙」スポンサー登録
・バーニス支部 SC後援会 副会長就任
3月
・環境フォーラム京都 2008 出展
4月
・60周年記念事業 エコポリスパン3号機導入
5月
・プライバパーマーク取得 キックアップ
10月
・山本清掃創立60周年記念式典開催

2008年(平成20年)
11月
・京都都心に通勤し、CO2オフセット付き出張巡回サービスを開始。
12月
・エコパーク2008 出展

2009年(平成21年)
3月
・環境フォーラム京都2009出展

4月
・ハートメディカル事業部設立
8月
・株式会社エム・アール・シー ハートフルエンプloi開設開始
10月
・株式会社アイリンク KES取得
11月
・環境福祉センター開設
・KCCサテライトセンター開設


京都クリアセンター(KCC)


KCCサテライトセンター

2010's

2010年(平成22年)
6月
・京丹波ウエス開設
12月
・ブライビー取得

2011年(平成23年)
4月
・東日本大震災の復興支援のため若手乗へ援助派遣
9月
・台風12号による水害の被災支援活動のため和歌山へ援助派遣
12月
・山本清掃創業者 山本武雄の「お別れの会」開催

2013年(平成25年)
4月
・65周年記念事業 エコポリスパン4号機導入
9月
・台風18号による水害の復旧支援活動のため岡山へ援助派遣
10月
・本社社屋リニューアル

2014年(平成26年)
9月
・51施設認知症を克服する、中間施設設計(堺市・河内郡)取得
・KCCI京都クリアセンター24時間受付体制となる
10月
・せきれい創造館センター開設

11月
・ヤマトホールディングス設立

2015年(平成27年)
4月
・東本願寺大谷会へ入会
・新卒採用開始

11月
・京都市北区にYHD大宮を開設

2016年(平成28年)
5月
・熊本地震の復興支援の熊本県へ援助派遣
・京都みづびプロジェクトを開始
<

—きれい創造企業—

YAMAMOTO 株式会社 山本 清 掃

廃棄物の収集運搬・管理・コンサルティング

ヤマモトホールディングスの中核企業として、一般廃棄物収集運搬処理をはじめ産業廃棄物中間処理、収集運搬、医療系感染性廃棄物収集運搬処理、機密文書出張裁断処理など多岐にわたる業務で、排出者様のニーズにお応えする役割を担っております。清掃管理業務としても市内大型商業施設・大型倉庫などの清掃管理も常駐管理しております。

代表取締役
山本 敬祐

機密文書処理シェア京都No.1

エコポリスبان

機密文書出張係サービス

個人情報保護法やマイナンバー制などへの対応もお任せ下さい。大型シュレッダーを搭載した、専用車両が出張し、機密文書を裁断しております。細断くずは再生紙へリサイクルしております。

医療機関専門の廃棄物処理京都No.1

ハートメディカル

医療の現場をサポートする

京都府内各々の医療をフルサポートしているのは我が社の誇りです。感染性廃棄物をはじめ、医療機器の廃棄、カルテ裁断など医療機関から排出されるあらゆる廃棄物を適正に処分いたします。

産業廃棄物中間処理施設(清洲・岩井・再資源センター)

京都クリアセンター

総合廃棄物処理・リサイクル施設

山本清掃は京都府伏見区の本社近くに京都クリアセンターを設け、産業廃棄物などの収集・運搬能力を遂に拡大いたしました。一般産業物・自動車センターと共に、より効率的な環境活動を行っています。

「活かす」活着プロジェクト

京丹波ウェス

古着リサイクル環境と福祉の融合の実現

「京丹波ウエス」は京都府大宮、最新の古着リユース・リサイクル工場。古着、衣類の選別およびウエス加工を行っております。

京都最大級

据置き大型シュレッダー導入

シュレッドスタジオ

機密書類などを安全・確実に裁断処理しませんか？

70周年記念事業
(2018年開設)

シュレッドスタジオでの実施をする事で、機密書類の取扱いをより厳密にすると共に据置き大型シュレッダーを用いた迅速な裁断を可能とします。また、環境に配慮した社会づくりを目指すことが求められている現在、そのリサイクル作業にも対応しております。

安心
安全
の理由

① 機密情報
漏洩防止対策

② 人員管理
情報セキュリティ

③ 機密性のある
安全な処理システム

シュレッド
スタジオでの
持込・取
引サービス

お客様の機密書類を安全に処分いたします。また、環境に配慮した社会づくりを目指しています。

お客様の機密書類を安全に処分いたします。また、環境に配慮した社会づくりを目指しています。

お客様の機密書類を安全に処分いたします。また、環境に配慮した社会づくりを目指しています。

お客様の機密書類を安全に処分いたします。また、環境に配慮した社会づくりを目指しています。

お客様の機密書類を安全に処分いたします。また、環境に配慮した社会づくりを目指しています。

お客様の機密書類を安全に処分いたします。また、環境に配慮した社会づくりを目指しています。

お客様の機密書類を安全に処分いたします。また、環境に配慮した社会づくりを目指しています。

リサイクル
の流れ

お客様の機密書類を安全に処分いたします。また、環境に配慮した社会づくりを目指しています。

お客様の機密書類を安全に処分いたします。また、環境に配慮した社会づくりを目指しています。

お客様の機密書類を安全に処分いたします。また、環境に配慮した社会づくりを目指しています。

お客様の機密書類を安全に処分いたします。また、環境に配慮した社会づくりを目指しています。

お客様の機密書類を安全に処分いたします。また、環境に配慮した社会づくりを目指しています。

お客様の機密書類を安全に処分いたします。また、環境に配慮した社会づくりを目指しています。

お客様の機密書類を安全に処分いたします。また、環境に配慮した社会づくりを目指しています。

マテリアルサイクル
M.R.C. 株式会社 エム・アール・シー
MATERIAL RECYCLE SERVICE

資源物のリサイクル 一般産業廃棄物中間処理施設

京都議定書が批准された平成9年に設立。
 エム・アール・シーは資源物、リサイクル物の扱いが高いが膨大となり、別法人として完全分社。現在はグループ内の再資源物取扱いの幅は最大で高い効率化を実現しております。その事業活動はヤマトホールディングスグループの全体サービスの役割を大きく担っております。

代表取締役
山本 真也

一般産業廃棄物の適正処理

一般産業廃棄物収集運搬処理を主業務として、ヤマトホールディングスグループの各事業を人材面とサービス面でサポート。グループ内で唯一国内環境基準であるKESステップ2を保持。
 山本清博とエム・アール・シーが保有する国際基準のISO14001とは異なるところ点でお客様にサービス提案をしております。

代表取締役
山本 一美

環境戦略をサポートする
KYOTATE 京都建物総合管理株式会社

建物一括管理

複雑化する廃棄物処理に関する法令と条例。排出者であるお客様の責任を少しでも軽減する為に、産業物の総合管理を代行する為に設立されました。排出者責任が厳しく問われる昨今、適正処理と効率のよい処理をご提案しております。
 平成28年5月より、都市型養蜂 京都つばちプロジェクトを開始致しました。

代表取締役
山本 敏裕

創業85年の信頼と実績
株式会社 下屋敷商店

一般産業廃棄物の適正処理

創業昭和5年、京都を代表する繁華街「京橋」を事業エリアとし、一般産業廃棄物の収集運搬にあたりております。結果実業務遂行は当然の前提のもと、小さい会社ならではの柔軟性を活かし、お客様のニーズに合ったきめ細やかなサービスを進化させ続け、京都の京、京橋の街を美しくしております。
 平成28年、KESステップ1を取得。

代表取締役
原嘉 文太

環境にまじめ一筋
高野清掃株式会社

一般産業廃棄物処理・産業廃棄物収集運搬

創業昭和48年、京都洛北を中心に一般産業物の収集運搬を行っております。多様化・複雑化するゴミ事情に合わせ、グループ会社と連携、また豊富なノウハウでフレキシブルに対応し、京都が「きれいさ」を発信しております。

代表取締役
山本 智也



みつばちプロジェクト

私たちは、自然環境にも目と意識を向け、取り組む企業体質でありたい。これを実行し目に見える活動として、「京都みつばちプロジェクト」に取り組んでいます。第3期の今年は、昨年度の経験を生かしミツバチたちが健康で夏秋を過ごし、「越冬をすること」、そして昨年に負けず劣らずの高い精度のハチミツを取ることを目標に、各部署の仲間と共にプロジェクトメンバー同頑張っていきます。



出前環境学習

子供たちにリサイクルや環境意識を。

環境やリサイクル意識に対して関心をより深く持つて頂くために、小学校などの教育機関や公共施設へ伺い、環境に関するお話や、デモンストレーションを行っています。



京都はあとふる企業に認定障がいのある方を積極的に雇用

他社の視察を通じて、障がいを持つ方々が生き生きと働く姿を見て感動しました。そこではそれぞれの障がい者の方々が、得意な分野を生かして仕事をする意義を感じ、弊社でも是非取り組むべきと考えました。社会的責任を果たすと共に、障がい者の方との分け隔てない生活・成長ができる社会を目的としております。



子供たちのスポーツ育成支援少年ラグビー、少年野球、少年空手を応援しています。

これからの日本を担う子供たちの健全育成を支援するため、少年ラグビー・少年野球への活動支援、少年空手大会への協賛など頑張る子供たちを応援しています。



祇園祭を裏方から支えています

7月15日の宵々山 16日の宵山の両日、17日の山鉦巡行と、連日猛暑の中、うちわを手にした多くの人々で混雑し、京都市中心部は人波による熱気に包まれました。多く人が集まるということは、大量のごみがでできます。山本清掃は今年も祇園祭のごみ回収の名誉ある大役を承ることができました。部署を超え、会社を超えてヤマモトHDの総力を集結して作業にあたりました。私たちはこの祇園祭がこれからも世界に誇れる祭で有り続けるために、美しい京都、キレイな京都で有り続けるよう、京都の一般廃棄物の収集運搬処理を行い、日夜奮闘して参ります。



災害派遣

これまで東日本大震災を始め、熊本地震や福知山水害などの被災地だけでは対応が不可能な地域へ、環境省の要請を受けて直接支援活動を実施。今後も天災で支援活動を必要とする地域へ積極的に人員派遣を行います。



JICA 海外視察団来社

国際協力機構「JICA」の海外視察団の皆さんが、当社 KCC 京都クリアセンターに見学にご来社されました。今回は、アンゴラ、モザンビーク、ブラジルの三ヶ国から10名の方がお越しになり、産業廃棄物中間処理についてご説明しました。何より皆さん積極的に質問をいただき、時にはディスカッションをし、ほど熱心にご参加いただけると、我々も熱が入ります。今後も多くの海外の方に日本の環境ビジネスについて知っていただき、地球環境保全に取り組んでいきます。



ぬいぐるみプロジェクト

京丹波ウエス事業部には古着と共に、たくさんのぬいぐるみが集まって来ます。こうしたぬいぐるみを、途上国でぬいぐるみを手にすることが少ない子供たちへプレゼントする取り組み。普段は出会えないたくさんの笑顔に出会うことができました。今後も所属団体と連携しながら、行って参ります。



大谷祖廟・万灯会をサポートしています

山本清掃では、墓地や霊園の清掃、雑草駆除、備品管理・修繕といった業務についてアウトソーシングサービスをご提供しております。敷地内を常に美しく保ち、施主様に喜んでいただけるよう、誠意をもって務めさせていただきます。

・京の夏の風物詩の一つ「万灯会」東本願寺 大谷祖廟では、毎年お盆の三日間、恒例の「万灯会」が行われます。夜間にもお盆参りができるよう、参拝者の足元を照らす提灯を灯したことが始まりの「万灯会」。東山山麓に並ぶお墓の間に約1万個の行灯が吊るされます。山本清掃は期間内の清掃業務や、提灯の設置等「万灯会」をお手伝いしております。



表彰

日本赤十字社より
金色有功章を拝受致しました。



(2015年11月25日)
ヤマモトHDグループ
全社で継続的に取り組んでおります、東日本大震災の被災地支援活動「みんなの着もちプロジェクト」による義援金活動に対して表彰いただきました。

第5回グッドライフアワード
実行委員会特別賞 拝受



(2017年12月9日)
環境省主催の環境大臣賞グッドライフアワードにて「京都みつばちプロジェクト」が実行委員会特別賞 サステナブルデザイン賞を拝受いたしました。

くまモン表敬訪問
熊本復興支援お礼行脚



(2018年1月23日)
くまモンが熊本地震の支援活動の御礼に弊社を訪問してくれました。「ありがとう」と「熊本は元気です」というメッセージを届けてくれ、スタッフも大感激でした。

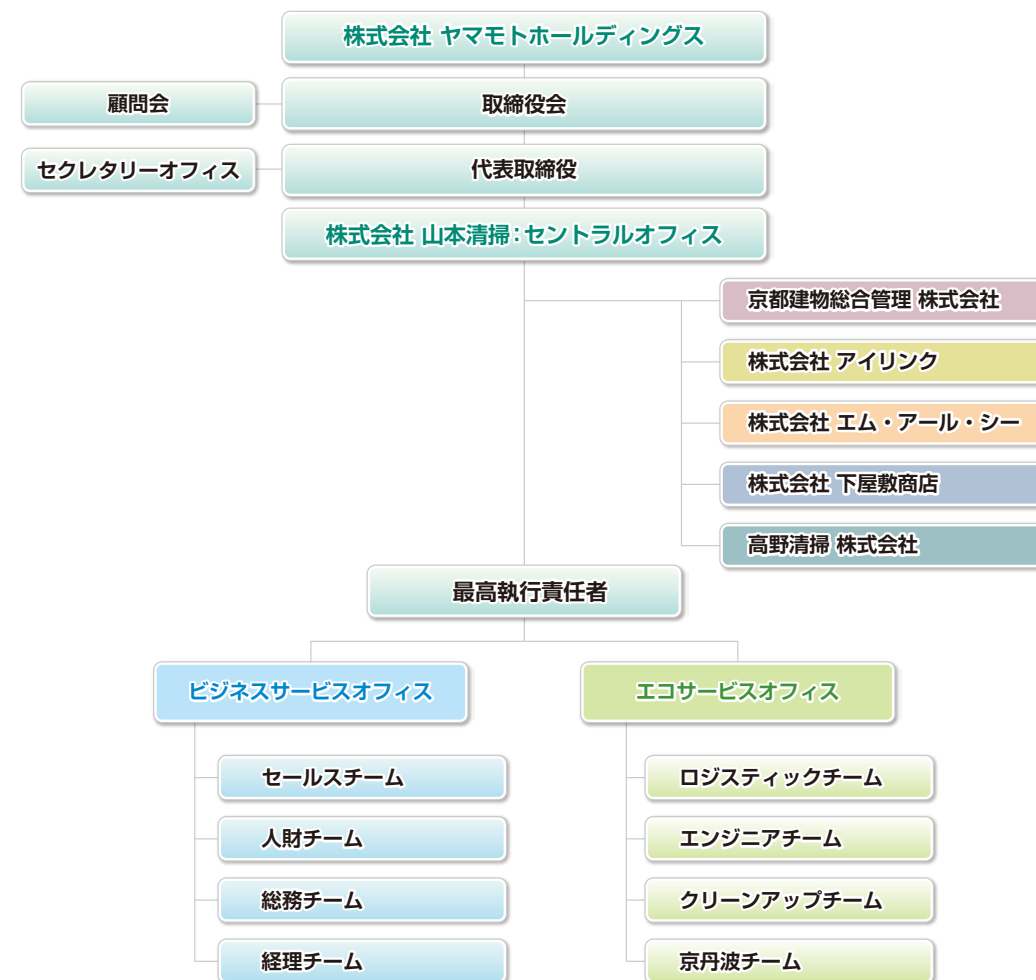
ヤマモトホールディングス 経営

様々な変化に迅速に対応し、経済と社会の両面からグループ全体の発展を追求します。

基本的な考え方

ヤマモトホールディングスグループは、法令を順守し健全で透明な企業経営を行うことを基本に、「事業」を通じ優れたサービス・製品を提供することにより社会の発展に貢献すると共に、ステークホルダーからの期待と信頼に応えることを基本的な考えとしています。

コーポレート・ガバナンス体制図



委員会活動



感謝状拝受

熊本地震の災害廃棄物処理活動に対して、熊本県益城町より感謝状を拝受致しました。



平成 29 年 3 月 21 日

金色有功章拝受

『みんなの着もちプロジェクト』に対して、日本赤十字社より金色有功章を拝受致しました。



平成 27 年 11 月 25 日

京都環境賞奨励賞拝受

京都市の制定する第 12 回（平成 26 年度）京都環境賞奨励賞を受賞致しました。



平成 27 年 2 月 6 日

京都府知事表彰拝受

「障害者雇用優良事業所への京都府知事表彰」受賞致しました。



平成 24 年 9 月 14 日

環境大臣表彰拝受

「3R 推進全国大会」において環境大臣表彰を授与されました。



平成 23 年 10 月 28 日

エコドライブ活動 優秀賞拝受

平成28年度 エコドライブシンポジウムにおいて、公益財団法人エコロジー・モビリティ財団様よりエコドライブ活動の優秀賞を拝受致しました。



平成 28 年 11 月 18 日

法務大臣感謝状拝受

日頃からの更生保護推進への貢献に関し、法務大臣からの感謝状を拝受致しました。



平成 27 年 6 月 4 日

日本赤十字社銀色有功章拝受

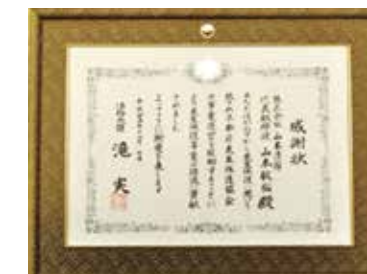
「日本赤十字社銀色有功章」受賞（東日本大震災支援活動『みんなの着もちプロジェクト』により）



平成 24 年 11 月 20 日

法務大臣感謝状拝受

「更生保護事業」法務大臣感謝状を拝受致しました。



平成 24 年 2 月 6 日

認定証拝受

京都市より「一般廃棄物収集運搬業優良事業者認定証」を拝受致しました。



山本清掃
平成 30 年 4 月 11 日

アイリンク
平成 27 年 3 月 20 日

歴史～70年の歩み～



創立60周年記念式典



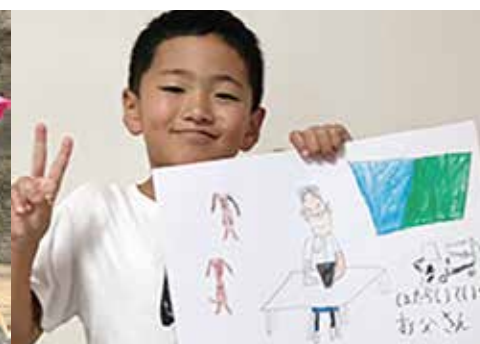
社内風景



CSR 活動



70周年記念 家族懇親会



70周年記念イベント
ポスター
コンテスト

きれい創造新聞

平成 26 年 1 月、山本清掃の社内報『きれい創造新聞』第 0 号が創刊されました。企業を成長させ続ける上で、社員の意識改革、価値観の变革、組織の醸成をするには、経営者のメッセージを伝え続ける必要があります、また会社の目指すベクトルを全員で共有することは必須です。人を動かす原動力の 1 ツールとしてお取引先様や社員へ向け、配信し続けること『きれい創造新聞』も平成 30 年 10 月で、第 57 号に上ります。

● 2014 年 1 月発行・創刊 0 号



● 2014 年 2 月発行・創刊 1 号



● 2014 年 5 月発行・第 4 号



● 2014 年 8 月発行・第 7 号



● 2014 年 3 月発行・第 2 号



● 2014 年 6 月発行・第 5 号



● 2014 年 9 月発行・第 8 号



● 2014 年 4 月発行・第 3 号



● 2014 年 7 月発行・第 6 号



● 2014 年 10 月発行・第 9 号



● 2014 年 11 月発行・第 10 号



● 2015 年 3 月号・No.14



● 2015 年 7 月号・No.18



● 2015 年 11 月号・No.22



● 2014 年 12 月発行・第 11 号



● 2015 年 4 月号・No.15



● 2015 年 8 月号・No.19



● 2015 年 12 月号・No.23



● 2015 年 1 月号・No.12



● 2015 年 5 月号・No.16



● 2015 年 9 月号・No.20



● 2016 年 1 月号・No.24



● 2015 年 2 月号・No.13



● 2015 年 6 月号・No.17



● 2015 年 10 月号・No.21



● 2016 年 2 月号・No.25



●2016年3月号・No.26



●2016年4月号・No.27



●2016年5月号・No.28



●2016年6月発行・No.29



●2017年7月号・No.42



●2017年8月号・No.43



●2017年9月号・No.44



●2017年10月号・No.45



●2016年7月号・No.30



●2016年8月号・No.31



●2016年9月号・No.32



●2016年10月発行・No.33



●2017年11月号・No.46



●2017年12月号・No.47



●2018年1月号・No.48



●2018年2月号・No.49



●2016年11月号・No.34



●2016年12月号・No.35



●2017年1月号・No.36



●2017年2月発行・No.37



●2018年3月号・No.50



●2018年4月号・No.51



●2018年5月号・No.52



●2018年6月号・No.53



●2017年3月号・No.38



●2017年4月号・No.39



●2017年5月号・No.40



●2017年6月発行・No.41



●2018年7月号・No.54



●2018年8月号・No.55



●2018年9月号・No.56



●2018年10月号・No.57



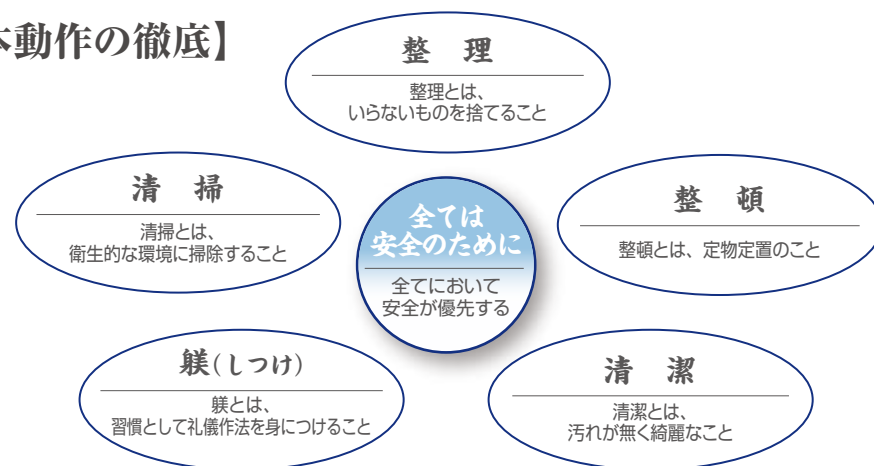
『労働安全宣言』

私たちはすべての安全を最優先とし、
労働安全管理水準の向上に努め、
ゼロ災害推進を宣言します。

労働安全衛生委員会の提言で実現

- 全車にドライブレコーダー搭載
- 営業車のパネルを取ることで視覚をより確保
- 防犯カメラ導入

【基本動作の徹底】



事故0を目指し、6Sを徹底し、現場力を高めています。

「作業時の安全確保」「お客様に対する品質の確保」「設備・情報に対するセキュリティの確保」の基本ルールを遵守する為の取り組みを日々徹底しています。当たり前の 6S を徹底するだけで、効率向上、品質向上、ムダの削減、コスト削減、安全確保、ミス低減、環境美化、士気高揚といった効果が期待でき、ゆるぎない現場力を確立することがてきます。全員がその大切さを認識し、派生する効果を実感しながら毎日実行しています。作業前に一度手を止め、思い込みをしていないか自問し、迷いや不安があったら進まない。失敗した時にどういう事象が発生するかを考える事ができることで、自分の行動を客観的にみる事ができ、ヒューマンエラー防止に繋がります。

【安全に対する社内での主な取り組み】

労働安全衛生委員会

各部署から選任された委員が、ヒヤリハットなど気づいた事例や実際に発生した事故について、また事故を未然に防ぐために、月に一度集まり情報の共有や対策を話し合います。年に一度、全従業員が集まり労働安全衛生大会を開催し「労働安全宣言」を採択します。

環境委員会

環境に関わる業務に従事する私たちは、環境を守ることを実践していかなければなりません。私達の業務が周辺環境へ負荷をかけることを最小限に抑え、より環境にやさしい企業であるために取り組むべきことを話し合い、実行していきます。

コンプライアンス委員会

企業において、法令を遵守することは当然のこととあります。常日頃の業務で、これが見過ごされることの無いように各部署の業務について確認と是正を行っていきます。

トライエスミーティング

外部講習アドバイザーを招き、運搬技術向上と車輛燃費の向上を図り交通と環境配慮を目的に行っている「トライエス活動・ドライバーズミーティング」。基本的な運転技術のことから、走行中に気を配らないといけない点など、普段は気付かない視点からの講義を受け、安全運転を心がけていきます。

『労働安全衛生の徹底』

～すべてにおいて安全が優先する～

平成26年の労働安全衛生委員会及び役員幹部会議にてグループスローガンが決定しました。どんな作業も安全に完了できなければ意味がありません。このスローガンを胸に抱いて業務にあたりますよう!

事故を未然に防ぐための心得七箇条

- 1、指差し確認を
実践しよう
- 2、恥ずかしがらずに
大声で確認
- 3、装備の乱れは
心の乱れ
- 4、急がば回れ!
余裕を持って
行動しよう
- 5、機材を清潔に保て!
- 6、コミュニケーション
をとれ!
- 7、ルールを守れ!

安全の基本とは

6Sの徹底・
コミュニケーションの促進
まずは6Sの徹底。また、コミュニケーション不足から事故に繋がる事もあります。そのため、これからはその促進も促してまいります。

安全への思い

安全に対する意識を
強固にしていきたい
社員はそれぞれ家族や守るべきものを個々に持っています。自身のみならず、その方々達のためにも、それぞれが安全に対する意識を強く持っていたら、真摯に向き合っていかなければなりません。

これからの方針

基本動作の徹底を心がける
6Sの徹底をはじめ、基本動作を徹底して行っていきたいと思います。

会社の取り組み

汚い所に神様は降りてこない
物や道具はあるべき所にきちんと片付け、社内をきれいに保ちましょう。物や場所が雑に扱っていると正しい機能を果たしてくれません。常に清潔に保ち、大事に使用しましょう。

あるべき姿とは

ルール厳守の徹底
決められたルールは必ず遂行しましょう。安全が確保されていない状況で作業してはいけません。何か違和感を感じるときは仲間に相談し、コミュニケーションを取り、対応しましょう。

安全の絶対条件

健康であること
自分自身が健康であること。落ち込み、陰鬱な状態というのはミスが起きやすいものです。身体はもちろん、気持ちも健康であれば、他者への気配りができ、皆が快適に作業出来ます。

安全の定義

すべての人が安心する
読んで字の如く、全ての人が安心して働ける環境。それがヤマモトホールディングスにとっての安全です。これからは社内のみならず、社外からも安心・安全のヤマモト」と認識していただけるように、さらにこの安心の輪を広げていきます。

11月、12月はYHDグループの労働安全衛生強化期間です

『人材』を『人財』に

人財教育で業務品質の向上を目指しています
人の成長に投資し、人材育成をすすめる

- ◎トライエス
ドライバー研修
- ◎管理者養成
ドライバー研修
- ◎可能思考研修
- ◎各種職能研修

その他、多彩な研修で
スキルアップを応援します

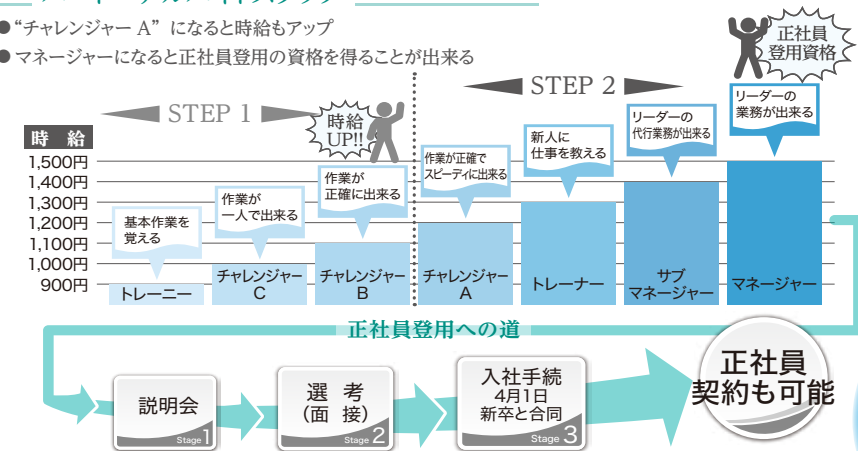


チャレンジ制度システム構想

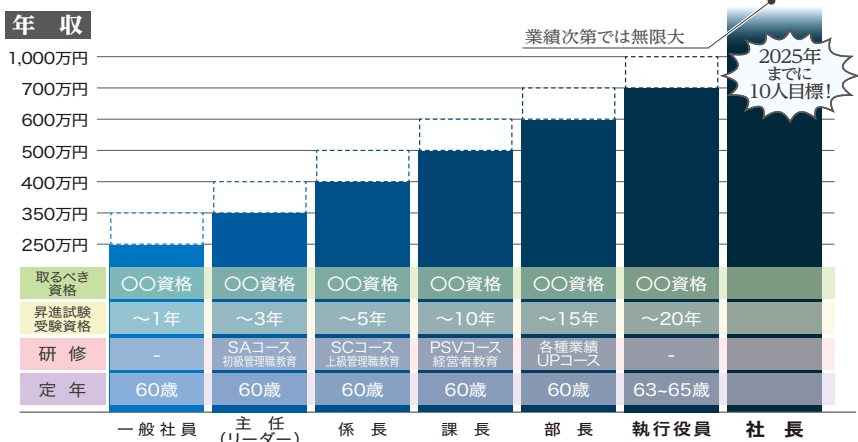
ヤマモトホールディングスでは、働き方改革として「チャレンジ制度システム」を導入。パート・アルバイトスタッフの部門と正社員の部門を下記の通り明確にし、ステップアップをするために必要な条件や資格を今後、各業務において定めています。

パート・アルバイトスタッフ

- “チャレンジャー A” になると時給もアップ
- マネージャーになると正社員登用の資格を得ることが出来る



正社員



やる気や
実績によって
飛び級も
可能!!

— きれい創造企業 —

株式会社 ヤマモトホールディングス

ヤマモトでできること、ヤマモトにしかできないこと

ヤマモトホールディングス www.yamamoto-hd.jp

グループ企業7社 2018.11月現在

YAMAMOTO



商 号 株式会社 山本清掃
URL: <http://www.yamamoto-mrc.co.jp>

□ [本社]
〒612-8244 京都市伏見区横大路千両松町196-1
TEL 075-623-5555(代) FAX 075-623-5511

産業廃棄物中間処理施設(選別・破碎)・再資源ターミナル

□ 京都クリアセンター
〒612-8244 京都市伏見区横大路千両松町195
TEL 075-603-5500 FAX 075-623-5511
☎ 0120-82-0005

□ ハートメディカル
〒622-0231 京都府船井郡京丹波町豊田島居野55
TEL 0771-89-1551 FAX 0771-89-1515
☎ 0120-810-100

□ 京丹波ウエス
〒622-0231 京都府船井郡京丹波町豊田島居野55
TEL 0771-89-1551 FAX 0771-89-1515
☎ 0120-05-2951

産業廃棄物中間処理施設(選別・破碎・減容固化)

□ M.R.C 株式会社 エム・アール・シー
〒601-8143 京都市南区上鳥羽麻ノ本町23-2
TEL 075-672-1000 FAX 075-681-0110
☎ 0120-17-1381

一般廃棄物処理業 環境コンサルティング

□ Link inc 株式会社 アイリンク
〒601-8143 京都市南区上鳥羽麻ノ本町23-2
TEL 075-694-2222 FAX 075-694-2224

□ KYOTATE 京都建物総合管理株式会社
〒600-8176 京都市下京区北町184-2 YHD鳥丸六条ビル3F
TEL 075-353-6666 FAX 075-353-6667

□ 株式会社 下屋敷商店
〒601-8122 京都市南区上鳥羽北塔ノ本町7番地
TEL: 075-581-2543 FAX: 075-581-2555

□ 高野清掃株式会社
〒612-8244 京都市伏見区横大路千両松町196-1・3F
TEL 075-603-5500 FAX 075-623-5515

□ [上鳥羽事業所]
〒601-8122 京都市南区上鳥羽北塔ノ本町7番地101
TEL 075-672-0005(代) FAX 075-694-2224

□ [京丹波ファーム]
〒622-0231 京都府船井郡京丹波町豊田島居野84

□ [KCCサテライトセンター]
〒612-8294 京都市伏見区横大路天王前87-12

□ [きれい創造廃棄物センター]
〒601-8142 京都市南区上鳥羽中河原47-1

□ [MRCサテライトセンター]
〒601-8142 京都市南区上鳥羽中河原町52-1

〔主な保有許可〕
一般廃棄物処理業許可(京都市、大津市、宇治市、城陽市、久御山町、京田辺市)
産業廃棄物処分業許可 京都市内2拠点(中間処理)
産業廃棄物収集運搬業許可 近畿2府4県(積み替え保管2拠点)
特別管理産業廃棄物収集運搬業許可
京都府公安委員会古物商許可
一般貨物自動車運送事業許可

〔事業内容〕
一般廃棄物処理業(収集運搬)
産業廃棄物収集運搬業
産業廃棄物処分業
計量証明事業(京都市伏見区、京都市南区、京都府京丹波町)
清掃管理業
衣類リサイクル業
機密文書出張裁断リサイクル事業
環境関連機器販売
廃棄物・環境コンサルティング業
一般貨物自動車運送業
解体工事業

〔所属団体〕
特定非営利活動法人 内閣府認定 日本廃棄物再利用研究機構
公益社団法人 京都府産業廃棄物協会
公益社団法人 京都府ビルメンテナンス協会
一般社団法人 京都府トラック協会
一般社団法人 全国清掃事業連合会
一般社団法人 京都府清掃事業連合会
一般社団法人 京都府計量協会
一般社団法人 全日本機密文書裁断協会(旧 パピルスネットワーク全国会)
京都環境事業協同組合
京都府計量証明事業協会
京都市ごみ減量推進会議
京都商工会議所
京都桃山ライオンズクラブ
エコ・システム協議会
関西環境保全事業協同組合
千両松地域エコ協議会